



北理研だより

＜170号 平成25年(2013年)11月15日 発行＞

平成25年度 北理研札幌支部秋季研究大会（プレ全国大会）

第3日【二条小会場】まで約1か月！

【二条小学校の学校課題】

有用性 ～工夫する喜び～

意図的に働きかけ目標を達成しようとする展開を図り、
開拓者精神あふれる北海道らしい追究の仕方考えます

授業者

授業協力者（〇はチーフ）

3年「電気の通り道」 伊藤 拓真 〇高島 護 鎌田 泰弘 阿部 陸斗

乾電池ボックスの手作りに取り組みます。豆電球が光るときと光らないときがあることから、子どもは主体的に導線のつなぎ方を工夫し、回路について考えます。

4年「電気のはたらき」 佐藤 宏充 〇元起 克敏 山本 泰寛 堀田 淳

プロペラカーに電池2本をつないだのに、1本のとくと変わらない速さの車があることから、乾電池のつなぎ方と電流の強さについて追究します。

5年「電流が生み出す力」 湯澤 将武 〇小川 裕之 鈴木 大志 横倉 慎

電磁石の磁力をより強くしたいと、電池1個の強力電磁石の磁力に着目し、コイルの巻き数と磁力の関係を追究します。

6年「電気の利用」 牧野 理恵 〇後藤 健 梶下 淳史 石黒 正基

電流が弱ければ長く働くという経験から、電磁石を長く働かせるためのコイルの巻き数や導線の太さを追究します。

12月 6日(金) 13:45～

- ・詳しい時程については、2次案内をご覧ください。
- ・当日、資料代（1,000円）をいただきますが、いずれかの会場でお支払いいただいた方は3会場（円山小・中央小・二条小）すべてに参加可能です。
- ・大会要項をお持ちの方は、当日ご持参ください。
- ・大会参加及び反省会出欠の変更は、岡 亨（澄川西小）へ連絡ください。

【合同反省会】12/6(金) 19:00～『甘太郎 すすきのアーバン店』

〈事務局〉

北海道小学校理科研究会事務局長 村上力成（南の沢小学校長）

〒005-0823 札幌市南区南沢3条2丁目18-1 TEL.571-1096 FAX.571-2769

e-mail rikinari.murakami@city.sapporo.jp

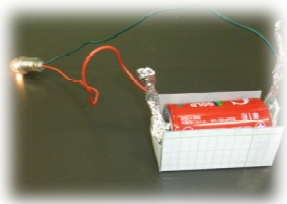
〈担当〉札幌支部広報次長 興石育子（元町小学校）

【3年部会】

「電気の通り道」

3年生の見方や考え方は外見の特徴にとらわれます。見かけ上は「つながっている」のに豆電球が点灯しない…。この事実に対し、挑戦意欲をもって工夫する姿を目指しています。

授業協力チーフ 高島 護



3年生が「思い通りにいかない事象」と向き合ったとき、問題を乗り越えようとする意欲の原動力は何かを解明します。 ～研究部～

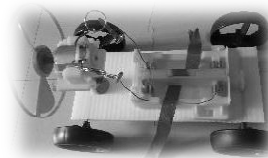
【4年部会】

「電気のはたらき」

風の強さやプロペラの回転音などの体感を重視し、プロペラカーを教材として選びました。また、机間指導における教師の関わりにも注目ください。グループ内の交流を活性化させ、追究を深める教師の関わりを明らかにします。

授業協力チーフ 元起 克敏

教材の選択に試行錯誤を重ねた部会です。より速く、より強く、という目標に頼り過ぎると問題が生まれにくい単元です。教材の工夫で問題解決を生み出します。 ～研究部～



秋季研究大会

(プレ全国大会)

二条小学校 Highlight

【5年部会】

「電流が生み出す力」

巻き数を増やすことが、電流を強くすることと同等かそれ以上に効き目がある。このような電磁石の特性に着目し、自らの工夫で性能を高める喜びや意義を感じとっていく授業を目指します。

授業協力チーフ 小川 裕之



「札幌の電磁石」という主張の濃い実践です。平成23年の平岸高台小大会から磨き続けた実践です。多くのご意見でさらなる深まりを生み出したいと考えています。 ～研究部～

【6年部会】

「電気の利用」

「巻き数を増やすと働きが強くなる」という電磁石での学びだけではなく、「線の太さによって流れる電流の強さが変わる」という発熱での学びも生かした工夫が生まれるかが鍵です。「細い線でたくさん巻く」という工夫の意義を見つけます。

授業協力チーフ 後藤 健



まだまだ発展途上ではありますが「新しい提案性」を秘めた実践です。多くのご意見をいただき、磨いていくことができればと考えます。 ～研究部～